



風の谷

合い言葉は「自ら・共に・しなやかに」

天童市立荒谷小学校

天童市大字荒谷7857番地

校長 新目 巖

令和5年4月26日(水)

創立66周年 おめでとう

4月20日(木)に本校創立66周年記念式を行いました。児童を代表して、6年土方依織さんがお祝い言葉を述べました。そして、校長が話をしました。

今年の創立記念日は、素晴らしい快晴の天気と重なり、とても気持ちのよい創立記念日となりました。短い時間ではありましたが、児童と職員とで本校の66回目の誕生日を温かくお祝いいたしました。



児童代表お祝いの言葉

6年 土方 依織

グラウンドの桜の花びらが散り、気温が暖かくなってきましたね。今日は荒谷小学校66回目の誕生日です。

荒谷小は、児童の人数は少ないですが、協力して活動しています。例えば、中間休みや、はつらつタイムの時は、色々な学年の人と一緒に仲良く遊んでいます。また、昨年度から縦割り班清掃が始まり、6年生の班長を中心に、協力して掃除をしています。

そして、今年、私は企画委員長になりました。良い伝統は、児童会活動でも受け継いでいます。あったか行動の木や、挨拶運動など、さまざまなことが受け継がれ、安心して楽しく過ごすことができている。しかし、まだ、ちくちく言葉を使っている人がいるので、そこを改善していけるように、良い伝統を受け継ぎながら、より良い荒谷小学校にしていきたいと思えます。

荒谷小の一員として、明るく思いやりのある荒谷小にしていくことができるように、「自ら・共に・しなやかに」を意識して行動していきたいと思えます。

校長の話

今日は、天童市立荒谷小学校の66歳の誕生日です。

荒谷小学校は、昭和32年4月1日、豊栄村立荒谷小学校として独立、開校しました。そして、4月20日に新校舎が完成したことから、4月20日が創立記念日とされています。その3年後に校章制定。9月に校歌制定。翌36年に校旗が制定されました。その後、名称を天童市立荒谷小学校、天童市立第十小学校、そして、天童市立荒谷小学校となり現在にいたっています。

現在の校舎は、昭和55年5月31日につくられたものです。今とちがっている所がわかりますか。

荒谷小学校には66年の歴史がありますが、実は、荒谷地区に最初に学校が創られたのは、さらにその83年前、今から149年前です。明治7年11月15日、天童東学校荒谷分校が即園寺境内に創設されたのが始まりです。その後、長い間、山寺小学校の分校・分教場となっています。ですから、荒谷小学校という独立した学校になってからは66年ですが、地域に学校ができてから、つまり開学は149周年となります。長い歴史と伝統のある素晴らしい学校なのです。

今日は、創立記念日にあたって、二つのことをお話しします。一つ目は「荒谷魂と中川イセさん」について、二つ目が「荒谷の生き物クイズ」についてです。



(裏面へ)

【1 荒谷魂と中川イセさんについて】



荒谷地区には「荒谷魂」という言葉が語り継がれています。これは、「荒谷風土記」にある言葉で説明すれば、逆境に負けず、とにかくがんばることだと自らに言い聞かせ、働きに働くこと。そうすることで、俺は勝てる、勝つのだという自信や余裕が出てくる生き方のことです。かんたんに言えば「とにかくがんばること」「あきらめないぞ。自分はできるんだ」という気持ちです。

中川イセさんは、まさにそんな生き方をした方です。イセさんは、干布地区、上荻野戸生まれですが、お母さんが2才を前に亡くなってしまい、それで、荒谷の佐藤家で育てられました。そして、荒谷小学校で4年間学びました。大変貧しくはしていましたが、荒谷小時代はとてがんばり屋で、走るのも、勉強も一番だったそうです。

17才で、結婚しないで子供を出産。子育てのためのお金をつくるために、北海道に渡ります。網走市で苦勞して働き、中川卓治さんと結婚しました。樺太で旅館に勤めたり、網走に戻って牧場を経営したりしました。そして、中川卓治さんの父親が残した、2億円以上もの借金も必死に働いて返したそうです。

その後、網走市の市議会議員に女性で始めて当選し、7期勤めています。市議の時には、水道の敷設活動に熱心に取り組みました。議員のかたわら、人権擁護委員、自民党北海道支部婦人部長、家庭裁判所家事調停委員、網走婦人会長、などたくさんの公職を歴任しました。市議会議員は75才で引退。引退後は保育園を経営したり、博物館網走監獄を運営する網走監獄保存財団の理事長になったりしました。そして91才で網走市の名誉市民になった方です。105歳で亡くなったときには市民葬で送られました。

「イセさんを知らない人は網走市民ではない」とか「北海道で知らない人はいない」と言われた人で、その人生はテレビドラマ「流氷の女」としてTBSで全国放映されました。

いまでも、網走市には、イセさんの名前がついた施設があるそうです。「イセの里保育園」「イセの里児童館」「老人保健施設イセの里」、そして中川卓治さんと出会った柔道場も「中川記念武道館」として残っています。

また、中川イセさんは、本校にも、たくさんの寄付をされています。昇降口の校章や、図書961冊と本棚、記念切手、その他にも、卓球台、放送器具、ステージ用演壇、体育館校歌額、ビデオプロジェクター、ビデオ昭和の記録50年32巻等、たくさんのものを寄付してくださっています。



荒谷地区に住む今田由美子さん(女優:夢実子さん)は、この素晴らしい中川イセさんの人生を多くの人に伝えようと、「一人語り劇・零を生きる~感動の一世紀を生きた中川イセの物語~」を網走市・天童市・山形市・そして先月3月末には横浜市で行いました。私は、先月の横浜での舞台を鑑賞させていただきました。中川イセさんの素晴らしい人生を伝える、とても感動的な語り劇で、ますますイセさんのことが大好きになりました。

この今田由美子さんは、毎年来校し、卒業前の6年生に中川イセさんのお話をしてくれています。昨年度も1月に来ていただきました。今年も来てくれると思います。6年生のみなさんは楽しみにしてくださいね。

わたしたちも、中川イセさんのような荒谷魂と、「自ら・共に・しなやかに」で、なりたい自分に挑戦していきましょう。

【2 荒谷の生き物クイズ】

今日の2つめのテーマは「荒谷の生き物クイズ」です

(Q1)「カジカガエルはどれでしょう」

立谷川には、「清流の歌姫」と呼ばれるカジカガエルがすんでいます。みなさんはその素敵な声を聞いたことはありますか。見たことはありますか。それでは、このカジカガエルはどれでしょう。

